

機械器具 7 内臓機能代用器  
高度管理医療機器 腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット (JMDNコード：70591000)

# キャプディールトランスファーチューブセット交換セット

再使用禁止

## 【禁忌・禁止】

<使用方法>

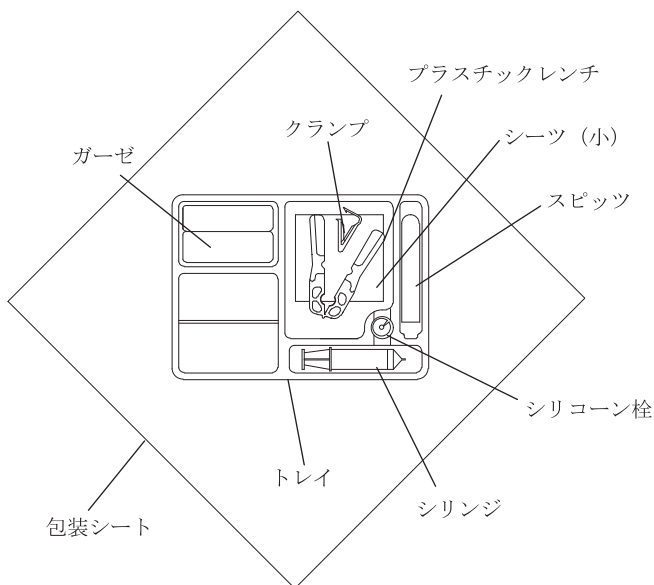
再使用禁止

<適用対象(患者)>

ポビドンヨード又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者。

## \*【形状・構造及び原理等】

<構造図>



## \* 構成内容

構成部品	数量	構成部品	数量
マスク	2枚	ガーゼ	8枚
包装シート	1枚	スピッツ	1個
トレイ	1個	シリコン栓	1個
プラスチックレンチ	1組	シリンジ	1個
クランプ	1個	シーツ (大・小)	各1枚

## 【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は連続携帯式腹膜灌流 (CAPD) を行う際に、使用する。

## \*\*【使用方法等】

本品は「キャプディールトランスファーチューブセット (医療機器承認番号 16200BZZ00326000)」又は「キャプディールTSCDトランスファーチューブセット (医療機器承認番号 20600BZZ00239000)」(以下、トランスファーチューブセット) をカテーテルジョイントに接続する際に使用する。  
なお、トランスファーチューブセットは「キャプディールカテーテルジョイント (医療機器承認番号 16000BZZ01741000)」(以下、カテーテルジョイント) と適合することが確認されている。

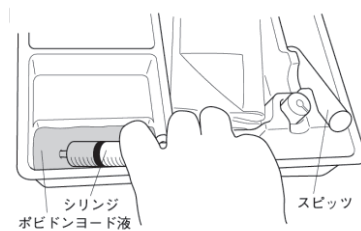
## <使用方法>

1. 本品を使用する際は、別途ポビドンヨード液と術者に適した滅菌済み手袋2双を準備する。
2. 交換セットの外袋を開封し、患者と術者ともにマスクを着用する。
3. シーツ (大) を広げ、スリット部分にトランスファーチューブセットを挟むように敷き、両面テープの紙を剥がして衣類に固定する。

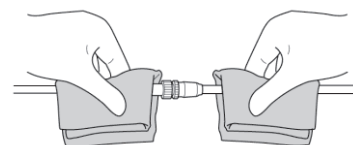
トレイ内の段差のところまでポビドンヨード液を入れる。



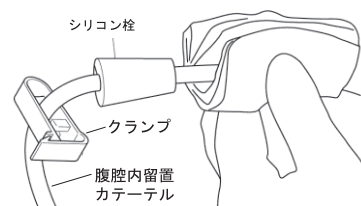
4. 別途準備した滅菌済み手袋を装着し、プラスチックレンチを取り出し、包装シートの上に置く。
5. スピッツをスライドさせて立てかけ、トレイに注いだポビドンヨード液をシリンジで7mL吸い、スピッツに注ぐ。



6. ポビドンヨード液を含ませたガーゼを両手に1枚ずつ持ち、カテーテルジョイント部とその周辺約8cmのあたりを1分間以上よく拭く。次にポビドンヨード液を含ませた新しいガーゼでカテーテルジョイント部を1分間以上よく拭く。



7. カテーテルジョイント接続部から約8cm離れた所の腹腔内留置カテーテルをクランプする。また、シリコン栓をクランプの手前にセットする。



8. 以下の手順で、カテーテルジョイントからトランスファーチューブ

取扱説明書を必ずご参照ください。

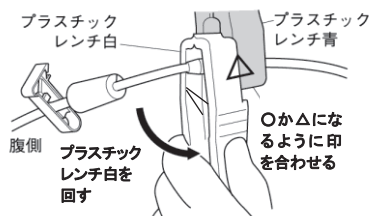
ブセットを外す。

#### <カテーテルジョイントがロック式の場合>

白のプラスチックレンチを腹側のカテーテルジョイントにセットし、青のプラスチックレンチをトランスファーチューブセット側にセットする。白のプラスチックレンチを矢印の方向へ回してネジがゆるんだら青のプラスチックレンチを外して、包装シートの上に置きトランスファーチューブセットを持つ。

注意：プラスチックレンチで、腹腔内留置カテーテルやトランスファーチューブセットを傷つけないよう取扱いに注意すること。

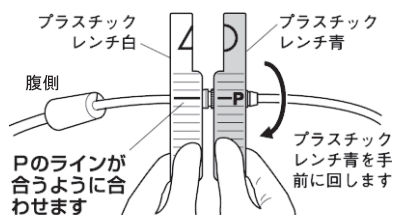
#### 【ロック式の場合】



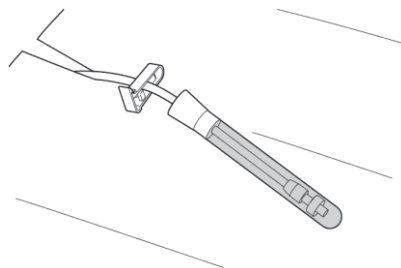
#### <カテーテルジョイントがロック式Pの場合>

白のプラスチックレンチを腹側のカテーテルジョイントにセットし、青のプラスチックレンチをトランスファーチューブセット側にセットする。青のプラスチックレンチを矢印の方向へ回し、ゆるんだら青のプラスチックレンチを外して、包装シートの上に置きトランスファーチューブセットを持つ。

#### 【ロック式Pの場合】



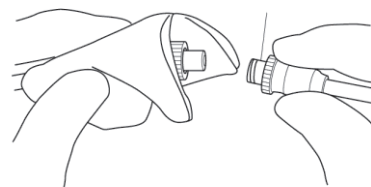
9. 白のプラスチックレンチを外して包装シートの上に置き、ガーゼでカテーテルジョイント部を把持する。
10. 手でトランスファーチューブセットを外す。
11. ポビドンヨード液の入ったスピッツにカテーテルジョイントの金属部全体を浸し、シリコン栓をスピッツの奥まで入れ、新しいシート（小）を敷き、その上に置く。そのまま、5分間浸す。



12. 新しいトランスファーチューブセットを個包装から出し、包装シートの上に置く。
- \* 13. 別途準備した滅菌済み手袋と交換し、トランスファーチューブセットのローラーランプを閉じる。
14. シリコン栓を外し、カテーテルジョイントをスピッツから取り出し、ガーゼで持ち、もう片方の手でトランスファーチューブセットを取る。（図1）

図1

トランスファーチューブ  
セット



15. カテーテルジョイントとトランスファーチューブセットを手で接続した後、プラスチックレンチで締める。

注意：接続部のネジ部に手が触れないよう注意すること。

締め後は、手で緩まないことを確認すること。

16. トランスファーチューブセットのローラーランプが閉じていることを確認し、腹腔内留置カテーテルに付けたクランプとシリコン栓を外す。

#### 【使用上の注意】

##### <重要な基本的注意>

1. カテーテルジョイントがロック式の場合  
トランスファーチューブセットのチタニウムジョイントとシリコンチューブを嵌合している部位（収縮チューブ）をプラスチックレンチで掴んだり、収縮チューブが回転する方向には力を加えないこと。[収縮チューブを無理に回転させて緩みが生じた場合は、シリコンチューブが抜ける可能性がある。緩みが生じた場合は、直ちにトランスファーチューブセットを交換すること。]
2. カテーテルジョイントがロック式Pの場合  
ジョイントの締め過ぎに注意すること。[ジョイント部が破損して緩み、液漏れする可能性がある。]
3. カテーテルジョイント及びトランスファーチューブセットのジョイントの接続の際は、ローレット部をプラスチックレンチで掴み、接続すること。[ローレット部以外を掴んで接続した場合は、シリコンチューブが抜ける可能性がある。]

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### <保管方法>

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

##### <有効期間>

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電話番号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター